



# 石の門

## 令和4年度の教育活動

4月24日(日)、授業参観を行いました。ご来校いただいた皆様、ありがとうございました。PTA総会を中止させていただいたため、保護者の皆様に直接今年度の学校経営方針をお話しすることができませんでした。今年度も昨年度に引き続き、「温かい絆で結ばれ、一人一人が輝く学校」を目指して教育活動を進めてまいります。先日、リーフレット「令和4年度今町中学校の教育」が完成し、各家庭に配付させていただきましたので、詳しくはリーフレットをご覧ください。



また、今町中学校ホームページにて「今中日記」を週2~3日のペースで掲載しております。その日の出来事や生徒の活躍の様子を写真を交えて紹介していますので、こちらもぜひご覧ください。

### 5月10日全校朝会校長講話 抜粋

#### 「誰一人取り残さない」

集団には、その集団が必要とされる目的や役割とともに、その集団が目指す目標があります。学級なら、授業を受け、学校生活を送るまとまりということが目的で、その目的をよりよいものにするために、こんなクラスにしたいという目標をたて実行していきます。部活動もそうです。バスケットボールをするために集まった人たちが、どんなチームにしたいか、大会でどこまで勝ち上がりたいかといった目標を立て、その目標に向かって練習を重ねます。学校行事もそうです。修学旅行であれば、目的は、旅行先の文化や人々の営みを学び、自分の住む地域を見直す機会とすること、集団行動を身に付け、仲間との絆を深め、中学校生活のよき思い出をつくることです。今回の3年生の修学旅行のスローガン(目標)は、「学び、考え、つくりだそう、持続可能な未来の新潟」でした。

「持続可能な」という言葉は、「人間の活動が自然環境に悪影響を与えず、その活動を維持できること」を意味していて、現在注目されているSDGsの考えです。3年生の修学旅行は、このSDGsの視点から様々な施設で、見学したり、体験したりして、環境・人権・産業などについて学んできました。私がゴールデンウィークに行った福島潟も水はけの悪い土地を人々が干拓や排水などの開発を進めましたが、野鳥や植物の生息地としての保全も進め、環境にも配慮しています。まさに持続可能な開発です。

SDGsの目的は、「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能な社会の実現です。私は、この「誰一人取り残さない」という言葉に魅かれます。3年生の修学旅行がSDGsの視点から学ぶということもあり、私は3年生にこの修学旅行自体を「誰一人取り残さない」ということを意識してほしいと話しました。

「誰一人取り残さない」ということは、自分だけや自分たちだけという考えではないことはもちろんですが、逆に必ず全員が参加するとか同じことをするというでもないと思います。難しいかもしれませんが、一人一人のことを大切に、その人に応じて考えているということでしょうか。こうした考え方ができるようになることが、人が大人になるという時、大事なことのひとつだと思います。

こうした考え方ができるようになるための基盤は何でしょうか。私は、健康に留意すること、全ての活動に自ら進んで参加すること、だと思えます。自分自身が健康でなければ、そしてその活動に意欲的でなければ、人のことを考えるところまで言動が及ばないと思うからです。

定期テスト、部活動の大会・コンクール、学年・生徒会行事など学校生活が本格化する時期となりました。今日、私が話したことは、3年生には、修学旅行の中で話したので繰り返しのようになってしまいましたが、今日この話を聞いた1・2年生を含め、今中生一人一人が、「誰一人取り残さない」「持続可能な」学校の実現を目指して取り組んでほしいと思います。もちろん先生方も誰一人取り残すことなく皆さんの活動を全力でバックアップします。

## 授業参観 4月24日(日)

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参観を2時間設定し、来校される方々を半分ずつとさせていただきました。天候にも恵まれ、学年を問わず、多数の保護者、家族の皆様からご来校いただきました。いつもより少し緊張しながら



も真剣に課題に取り組む姿、友達と話し合う姿を参観いただけたことと思います。ありがとうございました。また、紙面決議となりましたPTA総会につきまして、5月6日付け文書にて、集約の結果、報告・提案事項全てが承認されたことをお知らせしました。ご協力ありがとうございました。

## 3年生 修学旅行 4月27日~28日 村上・新潟方面

新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限配慮し、無事1泊2日の全日程を実施することができました。生徒、保護者の皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

「Let's Go for an Adventure~学び、考え、つくりだそう 持続可能な未来の新潟~」のローガンのもとSDGsについて学ぼう！を研修テーマに村上市では、堆朱箸木彫り体験、イヨボヤ会館（三面川の鮭に関する博物館）、スケートパークと村上の歴史や文化、地域おこしの取組を、新潟市では、環境と人間のふれあい館（新潟水俣病資料館）、水族館、フルーツガーデンなどで環境・人権・産業などを体験や見学を通して学びました。また宿泊した新潟市のホテルでは、夕食時にテーブルマナーを学ぶなど、ぎっしり詰まった2日間でした。団体行動が時間通り素早くでき、実行委員や各係の動き、見学地での挨拶や話の聞き方等もとてもしっかりとしていました。村上・新潟の良さや取組を学び、地元今町を改めて見つめ直す機会になりました。縮小や制限が余儀なくされた中ではありましたが、生徒にとって中学時代の良き思い出の一つとなってくれば何よりです。



【堆朱箸木彫り体験】



【新潟水俣病資料館】



【マリニピア日本海】



【白根グレープガーデン】

## 今町の伝統技能を継承する

今年の今町中之島の大凧合戦は中止、凧揚げの技能伝承を目的とした凧揚げを無観客で行うとのことですが、今町中学校の総合的な学習の時間では、今年度も5月から6月にかけて凧協会や凧組の方のご厚意により、各学年で「今町の凧」の学習を行います。概要は次の通りです。

- |       |   |
|-------|---|
| 1・2年生 | ビニール凧づくりと凧揚げ                                  |
| 3年生   | 1年生へのビニール凧づくりの指導<br>六角凧、ビニール凧づくりと凧揚げ<br>地絡め体験 |



【昨年のビニール凧作りの様子】

学習を通じて、三百数十年の間、今町の人たちに脈々と受け継がれてきた大凧合戦の伝統と魅力を理解するとともに、それを受け継ぎ、発展させていこうとする気持ちを高めてくれることを期待しています。